

平成 2 9 年 度
事 業 計 画 書

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

平成29年度事業計画

本年度は、日本経済の再生にとって正念場の年といえる。

民需主導の持続的な経済成長と一億総活躍社会の着実な実現を目指して政府の経済対策に期待をするものの、特に今後の米国情勢の不透明感並びに引き続き英国を含めた欧州まで今後が容易に見通せないという先行きの見通しへの重しになるなど日本の景気予測は非常に難しい状況にある。その上、依然として消費者には強い低価格・節約志向がみられ中小企業の収益状況はまだまだ厳しい状況が続いている。これら本当に難しい舵取りが求められている状況に鑑み、ねじ業界が一体となってこの厳しい環境を乗り越えるように、皆様の力強いご支援・ご協力をお願いすることとなる。

平成29年度の協会事業においても、委員会・部会等、協会事業のさらなる活性化に取り組むと共に、全ての会員企業の力を結集することはもとより、会員の方々だけでなくねじ産業全体からの協力を得て、以下の事業を実施する。

I. 委員会活動について

1. 政策委員会

(1) 基本方針

政策委員会は、正副会長及び専務理事で構成され、「ねじ業界の発展を促進する事業を展開し、会員の体力強化に資する」ために、会員にとって魅力ある事業を推進及び管理すると共に、事業全体を統括し、5つの委員会及び2つの部会を通じて、さらなる協会の活性化を図る事業活動を実施する。

また、関連団体（業界）との連携、調整にも取り組む。

(2) 平成29事業年度重点実施事業

さらなる協会並びに業界の活性化を図る為、下記の事業を重点とした事業活動に取り組む。

- ①ねじ製造技能検定の国家資格を目指した協会認定制度の事業
- ②「未来開発・パブリシティ委員会」事業
- ③ねじ製造企業の技術力向上を目的とした工場見学会・講習会（研修会）・勉強会等の実施並びに JIS 普及促進等を通じた技術振興事業
- ④五地域ねじ協会交流大会の開催、海外ねじ業界との交流などを通じた国際競争力強化・国際協調に関する事業
- ⑤ねじの生産統計などの国内ねじ関係情報の収集・公表に関する事業

2. 未来開発・パブリシティ委員会

締結部品としての「ねじ」の重要性を広く世間一般にPRして、「ねじ」に対する社会の関心を高め、理解を深めることに努める。

ITを活用した内外ネットワーク構築によるねじ産業の社会的な認知度の向上、及びねじ産業従事者のモチベーションの向上を目的とする。

ねじ産業内部の連携を強め、外部、特に業際ネットワークの構築を推進して、ねじ産業の将来に関わる課題を共有できる体制を作る。

- (1) プレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo2017)出展企画
- (2) パブリシティリーダー研修のフォローアップ
- (3) 協会ホームページへの各種情報発信
- (4) メルマガによる広報活動
- (5) 委員による会員等への取材広報
- (6) 当協会推進事業に関する広報活動
 - ・生産統計、輸出入統計、主要国の貿易統計
 - ・ねじの日(6月1日)の事業検討・推進

3. 資格委員会

ねじ製造技能に対する社会一般の評価を高め、ねじ産業に従事する方々の技能の向上を図るために、ねじ製造技能検定(協会認定)の国家資格を目指して、さらなるねじ製造技能検定(協会認定)及びねじ製造技能検定講習会の充実を図るなど、以下の事業を実施する。

- (1) ねじ製造技能検定制度確立に向けた講習会の拡充
 - ねじ製造技能検定制度の技能レベルの向上を目指すと共に、これまで開催してきたねじ製造技能検定講習会のさらなる拡充をはかる。
 - さらに本講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)で使用するねじ製造技能検定ハンドブックの改訂及び拡充をはかる。
- (2) ねじ製造技能検定(協会認定)の充実
 - 検定制度創設には、長期に亘る検定実施の実績が必要であるため、これまでの実績・経験を踏まえた、ねじ製造技能検定(協会認定)の充実をはかる。そこで、検定を実際に行う検定員の一層の拡充やレベル向上を目指すと共に、広く一般への本技能検定の周知をはかる。
 - そして国家検定のために、技能検定の指定試験機関としての要件を満たすべく、実技試験を実機による作業試験で実施出来るようさらなる検討を進めトライアル試験を実施すると共に、実態に合った技能のレベル分けを行って客観的で適切な評価基準で試験を実施する。
 - さらに国家検定制度推進に必要な運営体制も整える。

4. 技術委員会

技術力向上、生産技術の継承、変革を推進するため、次の技術振興事業を推進する。

- (1) 技術講習会（研修会）・勉強会及び工場見学会の開催
 - ・幾何公差に関する講習会の開催（於：大阪）等
- (2) JIS/ISO に関する事業（ねじ研究協会との連携）
 - ・本体規格の普及及びそれに伴う課題の解決（対応）策の検討・
取り纏め作業（JIS 普及委員会の開催 他）
 - ・建築業界関係者をはじめとした需要業界団体（関係者）との
意見交換（建築委員会の開催 他）
 - ・第2弾の普及促進のための冊子（リーフレット）作成検討
（商業者団体の代表者との共催を検討）
- (3) ねじ関係の材料研究事業（日本ねじ研究協会との共同研究）
- (4) 圧造技術スクールの開催（旭サナックと共催）
- (5) ねじに関する安全啓発事業
- (6) サポートインダストリー振興事業
- (7) 環境対策に関する事業
- (8) ねじ入門書／（CD 版）等の頒布
- (9) その他 技術振興事業

5. 国際委員会

五地域ねじ協会交流大会による国際協調と、ドイツねじ協会視察団の来日を機にドイツねじ協会との相互交流を図る。

- (1) 2017 年五地域ねじ協会交流大会（於：札幌）の開催
- (2) ドイツねじ協会視察団の受け入れ
- (3) 海外への発信
- (4) その他 国際協調及び国際競争力強化に関する事業

6. 取引委員会

取引適正化のために以下の事業を推進する。

- (1) ねじ業界の取引慣行の適正化を促すための事業
- (2) 業界別ガイドラインの周知・遵守運用、
下請け取引等の適正取引に関する事業
 - ・自動車産業適正取引ガイドライン改訂に関する説明会開催 等

Ⅱ. 部会活動について

1. ソケットスクリー部会

ソケットスクリーの品質の向上、使用状況などの情報交換を行う。
また必要に応じて工場見学会（研修会等）を実施する。

2. ステンレスねじ部会

ステンレスねじ業界の健全な発展について下記事業を行う。

- 研修会（講演）の開催及び情報交換を実施
- ねじ製造関連業界の工場見学会の開催
- ステンレスねじに関する海外市場の調査（海外視察）、日本のステンレスねじの海外向け PR（広報）

Ⅲ. 組織強化事業について

- (1) プレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo2017)への出展
- (2) 関東支部・中部支部・関西支部の会員相互の連携強化
- (3) 労務関係調査・情報提供の実施
- (4) 福利厚生に関する事業
- (5) 会員名簿の整備
- (6) 諸規定の整備
- (7) 関連諸団体との連携
- (8) その他 組織強化に関する事業